

テーマ：『 学校周辺の自然環境を活用した環境教育への全校的な取り組み 』

横浜市立 矢部小学校

Tel. 045-871-3408

担 当 西野 絹江

者：



■実践内容：

○学校前の「谷矢部池公園」内の畑では、1年生のさつまいも、2年生のだいこん、6年生のジャガイモづくり・シイタケ栽培などが行われている。野菜づくりを通して、子どもたちに野菜が成長する様子を見守りたいという関心呼び起こしたいと考えた。

○野菜づくりは、「わかぎの会」や地域の方々より苗の準備や土作りにご協力をいただいている。子どもたちは、収穫の日までに「わかぎの会」の方と何度か交流し一緒に活動を行ってきた。

○野菜の収穫後、当該学年の子どもたちは、児童朝会で実物を手に全校児童に紹介したり、食材として給食に活用していただいたりすることで、喜びを分かち合うことができるようにした。

○野菜づくりの様子や収穫の様子は、「矢部池だより」に載せて全校配布するとともに、HPで発信することで、矢部小学校の特色ある活動を広く知ってもらうようにした。また、振り返りの学習では、お世話になったの方々にお礼の手紙を書きお届けした。

■実践成果：

○野菜づくりは、天候に左右されたりその年によって出来具合が違ったりするものだが、さつまいもやだいこん・ジャガイモ・シイタケは比較的育てやすく、収穫を心待ちにする様子が見られた。収穫する子どもたちの表情は、喜びにあふれ「来年は何を育てようかな」と楽しみにしているようである。

○心がけてきたのは、「わかぎの会」などの地域の方々との交流を通して、地域の方から「学ぶ」ということである。実際に世話の仕方を見せていただいたり、教えていただいたりして「学ぶ」ことによって、「故郷を自慢に思う心」を育むことに繋ぐことができた。

○食教育はこれからの大きな課題であるが、身近な畑での野菜づくりは、安心・安全な食材としてもっと活用できると感じた。さらに、育てる野菜の種類を増やしていきたい。

○「矢部池だより」は、学校での特色ある活動の紹介として始めたが、幅広く見ていただくことができるので、保護者・地域ばかりでなく様々な方面からの反響があり、驚くとともに大変うれしく感じている。

■実践ポイント：

①豊かな自然の中、いつでも野菜づくりを身近に感じる学校環境を生かした栽培活動

②たくさんの地域の方々とのふれあいによる、「学びの場」づくりとPR活動

③食教育と関連付けた環境教育